



平成 25 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
(コード番号 3843: 東証マザーズ)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹
問 合 せ 先 取締役グループ経営管理本部長 清 水 高
電 話 番 号 03-5459-0522(代表)
(URL <http://www.freebit.com>)

当社連結子会社の不明瞭な取引及び会計処理に関する 特別調査委員会調査及び過年度決算訂正費用確定による 特別損失計上及び業績予想数値の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月期第 1 四半期において、下記のとおり、特別損失（過年度決算訂正関連費用）を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 7 月 11 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、平成 25 年 6 月 7 日付「当社連結子会社における不明瞭な取引及び会計処理に関するお知らせ」及び平成 25 年 7 月 26 日付「過年度有価証券報告書及び決算短信の訂正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社連結子会社である株式会社ベッコアメ・インターネット（以下、「ベッコアメ・インターネット」）における不明瞭な取引及び会計処理の調査のため、当社と利害関係を有しない専門家を含む特別調査委員会を設置し、その調査結果を受けて過年度決算の訂正及び再発防止策の作成等を実施いたしました。特別調査委員会による徹底した調査及び過年度訂正監査ならびに過年度訂正に関するドキュメント作成、再発防止策作成等に要した時間はのべ 9,000 時間以上となり、一連の作業に関連する費用が 167 百万円と確定いたしました。また、当費用を監査法人との協議の上、当第 1 四半期連結会計期間における特別損失として計上いたします。

費用及びのべ稼働時間の内訳は以下のとおりです。

	のべ稼働時間
特別調査委員会調査費用	647
過年度訂正監査費用	7,778
訂正に係るその他諸費用	664
計	9,089

2. 再発防止策の実施状況

特別調査委員会から受領した「調査報告書」における再発防止策の提言を受け、平成25年7月11日付「特別調査委員会の調査結果に基づく再発防止措置について」で公表しております各再発防止策を、下記のとおり速やかに実行しております。また、これを契機に、より一層の当社グループ全体のコンプライアンス強化に努めてまいります。

施策項目		実施状況
1	業務管理が可能な職制への人員派遣	当社グループの管理部門統括者を派遣。
2	業務協力及び連絡体制の構築	物理的な統合を目的に、当社グループ各社と同じ建物に集約し、組織的な統合も開始。
3	検証体制の確保	新たな計数チェック手続きを設定するとともに、基準値を上回る新規取引には4と組み合わせた管理を実施。
4	監査深度の柔軟性確保	牽制及び周知徹底を目的に、サンプリングや抜き打ち監査を実施し、営業担当者に対して受注案件に関する様々なヒアリングを実施。
5	内部通報制度の周知向上等のグループ内社員のコンプライアンス意識の向上	意識の低い項目を事前に洗い出したうえで、定期的にコンプライアンス研修を実施し、制度の周知徹底と意識向上を行う。
6	当社グループとしての意識共有の機会確保	当社グループのトップによる、意識改革のためのプロモーションを実施。また、グループの一体感を共有する機会を定期的に設定し、継続的に共有意識を養成していく。

3. 業績予想の修正

(1) 平成26年4月期第2四半期累計期間連結業績予想値の修正（平成25年5月1日～平成25年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	370	300	△50	—
今回予想(B)	10,000	370	300	△130	—
増減額 (B-A)	0	0	0	△80	—
増減率 (%)	0	0	0	—	—
[ご参考] 前期第2四半期実績	10,427	366	246	△158	△8.05

(2) 平成26年4月期通期連結業績予想値の修正（平成25年5月1日～平成26年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	1,200	1,000	200	10.23
今回予想(B)	20,000	1,200	1,000	100	5.12
増減額 (B-A)	0	0	0	△100	—
増減率 (%)	0	0	0	△50	—
〔ご参考〕 前期実績	20,660	935	480	△185	△9.44

4. 修正の理由

当第1四半期においては、モバイルへの戦略的なシフト及びアドテクノロジー領域の順調な拡大が寄与したこと等により、営業利益・経常利益は期初計画を大幅に増加し、対中間業績見通しに対する進捗は営業利益で82.9%、経常利益で92.1%と好調に進捗いたしました。しかしながら、「1. 特別損失の内容」にて記述したベッコアメ・インターネットの不正取引に関する特別調査委員会の調査、過年度訂正監査及び再発防止策作成等、一連の作業に掛かる費用が期初想定額以上に嵩んだこと、また、本件を受けて、旧経営陣が作成したベッコアメ・インターネットの事業計画を再精査し同社の今期業績見通しについて修正を行った結果、当期純利益については前回発表の業績予想数値を下回る見込みとなったため、平成26年4月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の数値を修正いたしました。なお、売上高、営業利益、経常利益につきましては、前述のベッコアメ・インターネットの業績見通しを考慮する一方、引き続きモバイルの成長をはじめ事業が好調に進捗していることから、現時点での修正の予定はございません。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以 上